



奥春別の歴史は1899(明治32)年、富山県から20数戸が開拓移民として奥春別地域へ入植したことから始まりました。教育が始まったのは1904(明治37)年。住民の寄付で弟子屈村字銚別西第61号に8坪の校舎を新築し、弟子屈尋常小学校奥春別特別教授場として、落成式と開校式が挙行されました。この時の児童数は20人でした。

1906(明治39)年には奥春別特別教授場として独立し、奥春別簡易教育所となります。1912(大正元)年8月、火

災により校舎が全焼してしまいますが、同年11月より小泉久造氏宅を仮校舎として授業を再開し、1916(大正5)年には校舎を新築しました。

1930(昭和5)年に弟子屈(阿寒湖畔道路(横断道路)が開通。この年に奥春別尋常小学校へと昇格独立をしました。

1931(昭和6)年には御料林野が解放されたことで、奥春別、銚別、重内、最栄利別に補助移民として各県から多くの人々が入地し、地域が急激に発展しました。この時の児童数は74人で、開校以来初めての2学級編成となりました。

1941(昭和16)年3月に高等科併置認可があり、同年4月に国民学校令発布により奥春別国民学校と称するようになります。1946(昭和21)年には児童数が校史上最大の167人を数えますが、翌年の1947(昭和22)年に高等科が廃止され、同年7月の町制施行に伴い弟子屈町立奥春別小学校と改称します。

当小学校がさまざまな改称を経て、現在の「弟子屈町立奥春別小学校」となるまでの歴史です。

## 奥春別小学校の歴史



## 奥春別小学校閉校

# ありがとう ぼくらの学校

## 地域を育み 地域に愛され 共に歩んだ116年

奥春別小学校が3月末をもって閉校します。地域の皆さんの手によって教育の灯がともされ地域と共に歩み育まれてきた学校は2021年3月116年の歴史に静かに幕を閉じます。



令和元年度に開催したやんちゃウィンターフェスティバル

## 地域と深い関わりのある学校に

奥春別小学校の歴史は、地域との関わりが深い行事や、特色ある授業などで、独自の校風と文化を培ってきました。

運動会を地域と合同で行ったり、児童が中心となり家族と冬を楽しむ行事「やんちゃウィンターフェスティバル」の開催、地域の方の協力を得て銚別獅子舞の活動を行ったりするなど、小規模校ならではの特色ある教育が展開されてきた奥春別小学校。児童1人ひとりにきめ細やかな教育を行うことのできるのも、小規模校の利点でした。

1904(明治37)年の開校から116年。この間、約千人の卒業生がこの学びやを巣立ち、多方面で活躍しています。現在の児童は16人。うち4人が6年生で、春に卒業を迎えます。令和2年度以降の新入生が見込めないため、学校と地域の皆さんが検討を重ね、3月で閉校することになりました。

この4月から児童は、統合される弟子屈小学校へ通います。

## 銚別獅子舞と奥春別小学校

奥春別地域で長く受け継がれ、奥春別小学校が全校を挙げて取り組んでいる銚別獅子舞。児童たちは学芸会、町文化祭など、さまざまな場で勇壮な姿を披露してくれました。

銚別獅子舞は、富山県から奥春別地区に入植した人たちが、1904(明治37)年にできた弟子屈神社へ故郷の祭事をしたので銚別獅子舞を奉納したのが始まりです。1971(昭和46)年には町無形文化財に指定されました。

そして1994(平成6)年に開校90年を迎えた奥春別小学校が、児童の郷土愛を育むことを目的に全校児童で銚別獅子舞に取り組み、その伝統は現在まで受け継がれています。

銚別獅子舞の取り組みは、春から統合される弟子屈小学校へ受け継がれます。



令和元年度の地域連合大運動会

# 奥春別小学校の 伝統と思い出は いつまでも心の中に



①歴代校長を代表して奥春別小学校寺田裕子校長に感謝状を贈呈 ②式典では児童に記念品が ③春から児童が通うこととなる弟子屈小学校の大西展史校長より歓迎のあいさつが ④⑤思い出を語る会では児童たちが奥春別小学校として最後となる獅子舞を披露 ⑥奥春別小学校の歴史を振り返るビデオ「奥春別小学校の軌跡」を真剣に鑑賞する卒業生 ⑦学校前に飾られた手作りの式典看板



ありがとう  
そしてさようなら  
ぼくらの学校

## ありがとう奥春別小学校 6年 坪井 めいさん

奥春別小学校は、今年で116年を迎えました。この奥春別小学校からは、997人の先輩たちが卒業をしています。

奥春別小学校は、伝統を受け継いできています。その行事は、鎧別獅子舞です。鎧別獅子舞は、奥春別小学校でしかやっていない伝統です。今までも先輩方から受け継いできました。もうその鎧別獅子舞は、奥春別小学校では受け継ぎませんが、奥春別小学校の歴史として残るはずなんです。

私は、6年この学校に通いました。そしてこの学校で6年間いろいろなことを学んできました。自然の大切さや、人との関わりなどいろいろなことを先生方に教えてもらいました。楽しくて数えきれないほどの思い出ができました。奥春別小学校が閉校しちゃうのは悲しいけれど、私は奥春別小学校だからこそできた、楽しい思い出をたくさん持ちました。私たちが育ててくれた学校にも「ありがとう奥春別小学校」と言いたいです。この学校で、勉強、行事などいろいろな活動ができて良かったです。

閉校記念誌「拓翔」から(一部抜粋・要約)



奥春別小学校(寺田裕子校長・児童16人)の閉校式・思い出を語る会(町・町教育委員会・奥春別小学校閉校事業協賛会主催)が11月28日、同校体育館で行われました。  
式には、在校生と教職員のほか、町内在住の卒業生や地域の方など129人が出席、思い出の学校の閉校を惜しみました。  
式では、開校100周年記念事業以降に在任した歴代校長7人を代表して寺田校長に感謝状が贈られたほか、町教育委

員会と同校閉校事業協賛会から児童に記念品が贈呈されました。  
思い出を語る会では、在校生16人による、同小学校としては最後となる鎧別獅子舞が披露され、会場からは惜しめない拍手が送られました。  
また、守屋和浩元PTA会長には、開校100周年記念事業以降に在任した歴代PTA会長を代表し、感謝状が贈られました。

## 思い出の母校に心からの感謝を